

2023 TRAINING
政策研究大学院大学

医療政策
短期特別研修



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

医療政策短期特別研修

1 コースの趣旨・目的

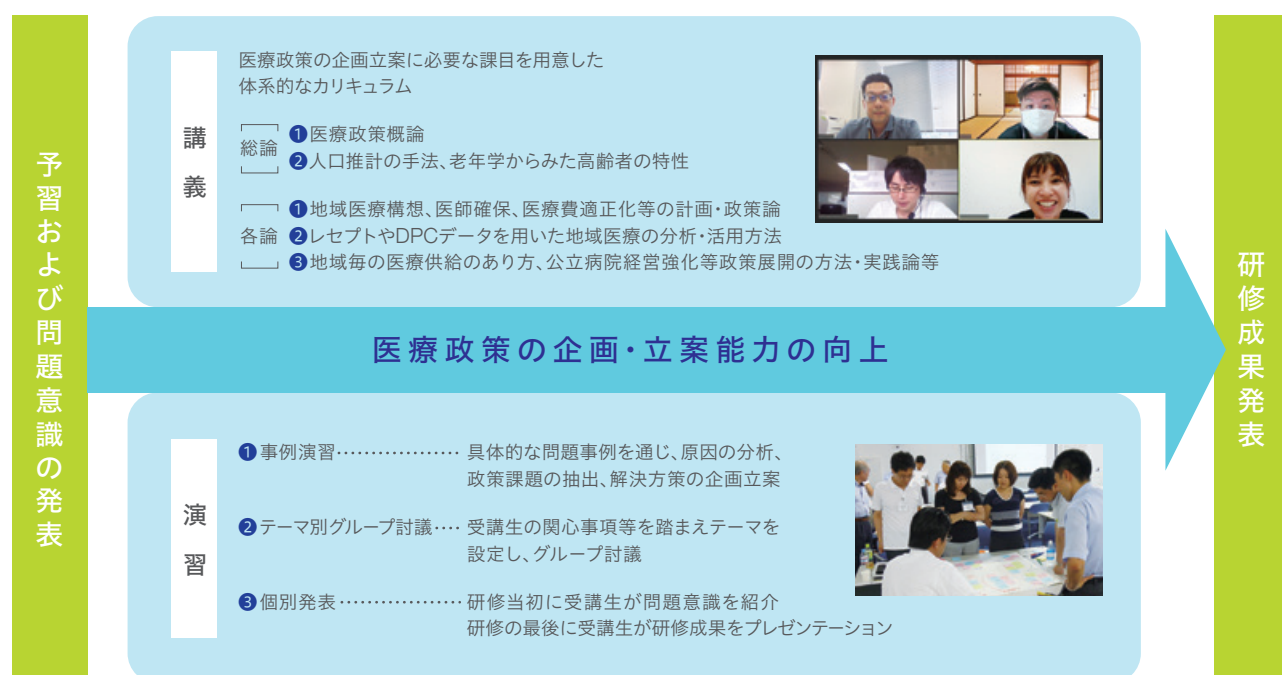
未曾有の超高齢社会への対応はわが国喫緊の課題であり、医療はその重要な柱の1つです。その際には、狭義の医療に限定せず、保健・介護・福祉・住宅・就労などの関連領域、さらには“まちづくり”まで視野に入れた総合的・戦略的な政策展開を図る必要があります。またこの間の新型コロナウイルスへの対応においては、医療対策に通暁した優秀な人材の育成の必要性が浮き彫りになりました。本研修では、講演と演習を組み合わせながら、超高齢社会と医療問題の本質の把握、国の政策の変遷・理念・課題、具体的な政策展開の方法等につき体系的な研修を行います。また、地域医療構想の策定、地域包括ケアの推進、医療従事者の働き方改革や医師偏在対策など医療制度改革が矢継ぎ早に進められていますが、本研修ではこうした政策課題への対応についても講義します。なお、この研修は、厚生労働省及び総務省の協力の下に政策研究大学院大学と自治大学校が連携して実施するものであり、研修の講師は、医療政策を専門とする大学教授・研究者や第一線でご活躍の医療関係者のほか、中央官庁の幹部職員が務めます。

2 研修の対象者

地方自治体の職員の方、及びシンクタンクや医療関係団体等の職員の方を対象とします。地方自治体の場合、現職が医療関連部門であるかどうかは問いません。年齢・役職に関わらず、旺盛な学習意欲とディスカッション等への積極的な参加意欲のある方を歓迎します。

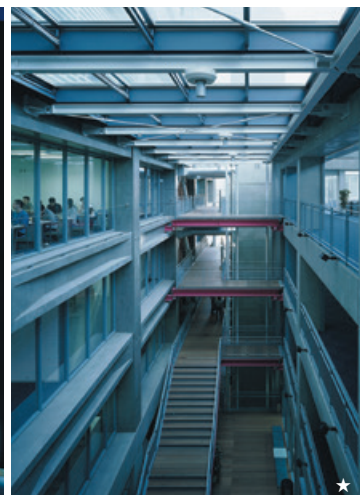
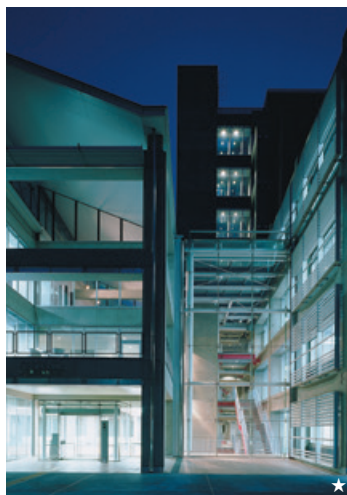
3 研修の内容・進め方

本研修は、医療政策のポイントを押さえた講義と、事例演習、グループ討議などの演習を組み合わせ、短時間で高度な医療政策の企画立案能力を修得できるよう、体系的なカリキュラムを用意しています。なお、本研修は、研修生の自己研鑽や問題発見能力の向上も重視していますので、研修生には研修開始前に一定の予習(自治体の医療計画や参考図書を読むこと等)をしていただくほか、研修開始時に問題意識の紹介、最終日に研修成果の発表を行っていただきます。



■2022年度医療政策短期特別研修時間割（講師一覧はホームページをご覧ください。）

日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	11:50-12:10	12:10-13:20	3限 (13:20-14:40)	4限 (14:50-16:10)	5限 (16:20-17:40)	17:50-18:40
7/28 木	ガイダンス、自己紹介	日本の新型コロナウィルス対策	振り返りセッション (オリエンテーション)	昼休み	老年学から見た高齢者の特性	人口推計の手法	振り返りセッション (~17:10)	予習用DVD視聴 (~17:50)
7/29 金	医療政策概論 日本の医療政策の変遷			昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷		診療報酬制度と政策	振り返りセッション
7/30 土	医療政策概論 日本の医療政策の変遷			昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷	医療ビッグデータの全体像とその活用	振り返りセッション (~17:10)	
8/1 月	医療に関する各種調査データ	医療計画と地域医療構想	振り返りセッション	昼休み	医師確保と医師の働き方改革について	介護保険制度と介護保険事業計画	公立病院改革と地域医療の方向	振り返りセッション
8/2 火	高齢者医療制度の現状と課題	介護報酬制度と介護医療院	振り返りセッション	昼休み	医療介護連携について	在宅医療の実際と展望	疾病構造・医療資源(医師数等)の将来推計方法/DPCおよびレセプトデータの活用方法	振り返りセッション
8/3 水	国民健康保険をめぐる動向	補講	振り返りセッション	昼休み	オープンデータを用いた地域把握の実際		住宅行政と福祉行政の連携	振り返りセッション
8/4 木	飯伊地区包括医療協議会の取組	公立病院の経営強化について	振り返りセッション	昼休み	日本の介護保険の特徴と課題 (国際比較の観点から)	病院の看護の役割	振り返りセッション (~17:10)	
8/5 金		看護政策・訪問看護	振り返りセッション	昼休み	疾病予防と医療費適正化・データヘルス計画・保健事業と介護予防の一体的実施	現場での疾病予防活動について	新型コロナウイルスの流行と地域連携の可能性	振り返りセッション
日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	11:50-12:10	12:10-13:20	3限 (13:20-14:40)	4限 (14:50-16:10)	5限 (16:20-17:40)	17:50-18:40
8/8 月	顔合わせ (10:10~)	グループ討議	昼休み (11:50-12:50)		グループ討議 (12:50-14:30)	2040年を見据えた社会保障の課題 -医療分野を中心に-	北海道の医療・介護提供体制の現状と課題(講義・ディスカッション) (~18:20)	
8/9 火		演習①	振り返りセッション	昼休み	演習②	介護保険制度と高齢者医療制度の創設時の回顧と展望	振り返りセッション (~17:10)	
8/10 水	宮崎県の周産期医療システム	専門分野としてのプライマリ・ケアの在り方	振り返りセッション (~12:30)	昼休み (12:30-13:30)	修了生報告会・個別発表・修了式 (13:30-18:00)			



★ Photo by Nishikawa Masao

研修生の声

北海道保健福祉部
地域医療推進局
地域医療課
課長補佐 竹内 剛



医療政策短期特別研修では、社会保障全体の政策の流れや各制度の変遷・歴史が紐解かれ、「何のために」この制度ができたのか、その経緯や目的が明確にされています。

その上で、中央官庁や第一線の研究者の方を講師に、医療や介護に止まらず、コロナ対策から住宅政策まで幅広い政策の最新情報や2040年を見据えた国の動向、DPCやオープンデータを活用した医療データ分析など、「今」必要な情報や手法について各論が展開されています。個別に認識していた「制度」が相互に繋がりはじめ、次第に立体感を持った「医療政策」として全体像を掴むことができました。

約2週間という短期間で、しっかりと自分の中に根付いたのは、戦略的に構成されたカリキュラムと第一線の講師陣は勿論のこと、立場や職種・所属が異なる様々な研修生同士によるディスカッションや交流を通じ、多様な視点に触れ、一層、具体的に理解を深めることができたからだと思います。また、最前線で活躍されている方々から、様々な実際の地域課題への対応事例を学ぶことができましたが、共通して「何とかしようとする強い意志」を持ったキーパーソンが講師本人や周りにいること。これが最終的に周囲の人をも動かす、地域課題を解決していくということに気づかされました。

私も、研修を通じて得られたものを活かし、データ等に基づく正確な地域分析や地域の取り組みへの支援など地域医療の確保に取り組んでいきたいと思っています。

横浜市医療局医療政策部
医療政策課担当係長
山本 香菜恵



医療に関する行政の権限が都道府県にある中、基礎自治体の立場では何ができて、どのようなことを進めていくべきなのか。医療政策に携わるようになってから疑問に感じていたことを解決するヒントを得られれば、という想いで研修に参加しました。

GRIPSのプログラムは、医療だけでなく、介護等の医療を取り巻く様々な分野の制度やその成り立ち、現状や課題などを学び、様々な職種・立場から参加している受講生と議論することで、1つのテーマを多角的な視点で理解していくことができるものでした。

また、研修が進むにつれて、講義の順番にも意味があり、すべての講義を受講することで、各講義の内容を関連付けながらさらに深く理解することができるプログラムになっていることを実感しました。

行政の職員は数年で異動するため、担当者が定期的に変わってしまいますが、行政課題と一緒に施策を進めてくださる関係者はそう変わるものではありません。的確に課題を捉え、関係者としてしっかり議論しながら継続的に業務を遂行していくためにも、医療に関わる必要な知識や視点等を短期間に広く深く学ぶことができる本研修への参加は大変貴重な機会でした。

今回の経験を生かして、まずは本市の保健医療プラン策定に向けて、庁内外の関係者と連携しながら、しっかりと進めていきたいと思っています。

広島県西部保健所広島支所
保健課 保健対策係長
西川 香織



医療政策短期特別研修では、医療制度の歴史の変遷や、現状と課題、将来への方向性について、連続性をもって学ぶことができ、奥深さを知ることができました。

第一線でご活躍の先生方から講義を受けることができたことや、様々なバックグラウンドを持った方々が集まり、あらゆる視点からの意見を聞くことができたことはとても大きな財産です。

これまで自分が経験してきたことと新たに得た知識を結びつけながら、断片的だった知識を体系的なものとして理解できるようになりました。また、人口構造から医療や介護の需要を予測することや、データ等の活用により、根拠に基づく政策を立案すること、在宅医療やまちづくりを視野に入れた政策展開を図ることの重要性を実感しました。

この度のコロナ禍で明らかになった課題も含め、地域共生社会の実現は決して容易ではありませんが、積極的に現場のニーズを把握し、多くの関係者の方々と目標や課題を共有しながら、チームで取り組むことの重要性を感じています。

今回の学びを県の医療政策等に活かせるよう、様々な関係者と連携しながら、創意工夫を凝らして取り組んでいきたいと思っています。

募集要項

- 研修実施期間 2023年7月27日(木)～8月10日(木) (※土曜日に講義を行う可能性あり。)
- 研修場所 政策研究大学院大学での集合研修とオンラインを併用する予定です。
※諸状況によっては全面オンラインの可能性もあります。
- 定員 30名
- 出願期間 2023年3月20日(月)～5月19日(金)
- 選考結果連絡 2023年5月31日(水)頃
- 受講費用 100,000円(税込)(予定)(※別途、指定図書の購入時の費用負担あり。)
- 出願方法 所定の申請書類のほかに、所属機関の長の推薦状等が必要です。
出願資格や必要書類等については、募集要項をご覧ください。
HPでもご覧いただけます。(https://www.grips.ac.jp/training2/domestic/)
- 問い合わせ先 政策研究大学院大学 医療政策コース
[住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
[Eメール] iryou-seisaku@grips.ac.jp
[電話] 03-6439-6290(直通) [FAX] 03-6439-6040



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES